

# BY KOUICHIRO GOSHO NAKED EYES.

at t r a c t i v e

# 市田ひろみ

服飾研究家・株市田美容室／市田アドフラン代表取締役社長 ● プロフィール  
1932年大阪市生まれ。53年京都府立大学短大国文科卒業。役員秘書、女優、美容師を経て現職。世界48都市できものショーをプロデュース。大谷女子短大講師、書家、詩人、画家としても活躍し、92年サントリー緑茶CMで人気爆発。



追っかけられたい、ソチヤ、ソチヤと。  
笑顔と気配りの素敵なるマルチ才女。

「新幹線なんか、待たしといたらよろしいやないの」で、あつという間に超のつく人気者となった市田ひろみさん。CM以前から、きものを着る層には有名だった彼女に、熱いラブコールを送る若い女性が増え中。いつもあでやかなきものにスラリとした身をつつみ、にこやかな笑顔を絶やさないスーパーマルチ才女。口を開けば、気取らぬ庶民的な生きた京都弁がうれ

**朝は5時半起き。毎夕5種類の  
おけいこに励んだOL時代。**

御所 サントリーのCMもまる2年のロングランになって、いよいよお忙しそうですね。

市田 お蔭様で宇治茶の売り上げが伸びたそうで、産地の方に喜ばれてます。でも、最初はお断りしたんです。実は設定が「根アカで庶民的で、きもの似合う四十代の奥さん。住んでるのは左京区で、夫は定年間近。お姑さんがいて、娘が一人」。お話を聞いて、私20歳も齢ごまかされへんと思うたもん。断ったら気が楽になって、地が出たんでしょ。いつのまにか先方さんと京都論をぶつてた。それが全部ビデオに撮られて、旅行に行つてる間に（配役が）全部決まってるんです。

御所 今日ひとつ、若かりし頃の市田さんに戻っていたらいいな。

自分探しの道筋を語ってもらいましょうか。

市田 大学を出たのが昭和28年で、ほんまに「大学は出たけれど」の就職難。大阪のヤンマーデイズルに入ったんですけど、近所のおばちゃんには「若い娘さんが大阪まで行かんらんとは、かわいそうに」と同情されましたね。

御所 なんです？

市田 当時は特急もないし、大阪は「遠いところ」やったんです。技術部長の秘書に配属されて、毎朝5時半起きで出社。部長が来るまで、コークスのストープで部屋をぬくめとして、帰りももちろん部長より後です。

御所 夜遊びはしはらへんかったんですか？

市田 その時代は木屋町も祇園も



# 「のけのけ、映るやないか!」 屈辱の大部屋時代を経て。

用を受けたんです

**市田** O.Lを勤めるかたわらスチュウワーズに憧れて、試験にも合格したんですけど、この部長と父が結託してどうしても東京に行かせてくれへん。おまけに母が倒れたりして、せっかく難関を突破したのに、外的な条件で夢が崩れてしもた。でも逆に「なんかしたい」という決意は固まりましたね。

**御所** 女優さんとしてデビューされるきっかけは何やったんですか?

**市田** お茶の先生が「撮影所に遊びに行ってみいひんか」言わはって、喜んでついて行ったら、それが面接だったんです。もう一遍にスタ

の机の上に置いたりしてました。

**御所** それは、有能や。助かる秘書ですね。

**市田** そやろ(笑)。あと、年賀状の宛て名書きも500枚くらいあるんやけど、「〇〇君には出しとったかな」と聞かれたら、「神戸の▲▲設計事務所の〇〇●●夫さん」て、フルネームですらすらとっね。その二つで、私は大信

一気分でしたけど、3日で運命を悟りましたね。契約の排他じゃなくて社員待遇の、いわゆる大部屋。でも私はマジメやから、毎朝髪結って、いちばんにセット入りしてたんです。そしたらカメラマンに「のけのけ、映るやないか!」て怒鳴られてしもた。

それらもう、シヨックですよ。居るとこやない、やめとこ、と思いました。そんなときに200人も仕出し(エキストラ)を集めた撮影があったんです。土儀で力士がおもしろいことをするから一斉に笑え、という場面です。待ち構えてた私は「ヨイ、スタート」でカチンコが鳴る直前に、いきなり一人だけめっちゃ笑いをしてもたんです。「しもた!」思っただ瞬間、ほかの

人らが大笑い。  
**御所** フライイングがおかしくて、ほかの人も笑ったわけですね。

**市田** そう。その後監督に呼ばれてましたね。1回でOKになったのになんでやろ、と暗くなって行ったら、「いっちゃん、おおきに。仕出しが多いと、みんな手抜きよるんや」200人もいてると、一生懸命やったかて自立してへんもんね。そのお蔭か、次作でセリフが3つほどついた町娘の役をもらえた。もうちょっとがんばってみよかな、と思いましたね。

**御所** 昭和33年に東京で主演デビューされて、一躍「日本のソフィア・ローレン」と呼ばれた。

**市田** 悪女役で売れたんですけど、私自身はお酒も煙草もダメで、ギャップが大きすぎました。会社はただれた後ばかり期待しはる。「もうあかん。私は芝居がヘタなんや」と自覚して京都へ帰りました。当時、スタイリストの草分けや

った母を手伝ってるうちに、今度は大橋儀一さんから「きもの教室」を始めたんやけど、やってくれへんか」と。

**御所** 「きもの教室」も、今はどこにもありませんが、当時はまだ未知の職種ですよ。

**市田** 風当たりは強かったですよ。「素人さんからの反発があったり、「女だてらに」と男性からのいじめがあったりしました。私、大谷女子

# お茶かて、女性がいれたほうが おいしいやんか

**御所** 男社会のなかで、バイオニアとしてやってこられたわけですが、現代の働く女性のため

**市田** 一つは「女性であることを忘れたらあかん」そして「女性であることを利用したらあかん」。職場でも、女性ならではの心配り、目配り、気配りは大事ですよ。ほら、お茶かて、女性がいれたほうがおいしいやんか。

**御所** 逆に「利用したらあかん」は?

**市田** 色気だけで勝負したり、身体を張って仕事を取ろうとする人はイヤ。自分の足で歩いてほしい、と思いますよ。

**御所** 実際、男の側も「何を勘違いしてるんや」思いますね。それはそれや、と。市田さんはセクハラを経験もあるんですよ。

**市田** 女優時代にね。宣伝関係の人が空港から送ってくれる途中「いっちゃんは今晚なにかあったとしても、明日の朝は「おはよう」と言える大人の女だよな」。神楽坂を走ってる車の中から見ると、電柱に「旅館たまたまがわ」。次の角を曲がったら、また「たまたまがわ」。「こら、あかん」思っ、車を降りるなり7cmのハイヒ

短大の授業の最後の日に必ず言うんです。「世の中いのは、その合はん人もいれば、イヤな人もいてる。せやけど一生懸命やったら、必ず見てくれる人がいてるんや。がんばりや、泣いたらあかんて」ね。

人生っておもしろいもんです。私は「こうなりたい」と思ったことはことごとくうまくいかなかったけど、人の敷いてくれたレールから枝葉が出て、ひろがってきたんです。

御所 たいへんな水面下の歴史もある...と。ところで、そのバネになったものは?

**市田** ひとつは明治生まれの母の教育でしょうね。嫌なこと泣きわめくと「泣いたら負けや」。ふくれてたら「おかしな顔や」と。

**御所** ふくれることなんてあるんですか?

**市田** ありますよ。せやけど、昔ながらの京都人は、どんな寒いときでも「寒おすな」言いながら、ちっとも寒そうな様子は見せへん。内心辛くても、しんどくても、ニコニコ平然としてる、これがほんとの京女でしょうね。



(御所氏へのメッセージ)

**御所光一郎**「クラフエイム」プロデューサー。

**市田ひろみ氏**より

「今の時代にもっとも今目的な存在。お会いするたびに、彼の若い感性を吸収しています。もっとも面白い人として、私のボーイフレンドの一人です。」

